

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひなたぼっこ・えびすヶ丘

目標達成計画

作成日： 平成 29年 11月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	28 29	ホームの生活が中心となり、活動範囲も限られる事から、加齢と共に、特に身体面の機能低下が進んでいる	ホーム内のケアに留まらず、地域資源・地域行事の情報収集を行い参加を積極的にしていく事で心身の向上を図る	・地域の行事を把握 ・まずだ独自の健康体操をいろいろな場所で開催されており、地域の活動情報を得て、健康体操等のサロンに参加していく ・地域行事へ積極的に参加していく	12ヶ月
2	26 27	チームでつくる介護計画と実践	ケアプラン作成後、実践状況を把握・評価・柔軟に変更を行う事で、入居者の方の暮らしの充実に繋げる	・プラン作成後は職員会議で本人・家族の意見・プラン内容を伝え、実践しやすいよう全職員が把握する ・モニタリング用紙を記入しやすく評価しやすい書式に変更する ・日々のミーティングや職員会議でケアの見直しをした事や状態が変化しつつある事は、月末のモニタリング用紙でトータル評価し、柔軟なプラン変更につなげる	12ヶ月
3	7 12	職員の退職に伴う一時的な人材不足、夜間勤務の負担感等から、職員の心身ストレスが生じやすい	その時の状況に応じ、業務や勤務体制を柔軟に変更し、職員間で助け合える環境づくりに努める事で、入居者の方へ変わらず質の良いケアを提供する	・職員の人数や力量を把握し、柔軟に勤務時間や業務変更を行い、お互い助け合いながらケアを提供していく ・気になる職員は面接を行いながら、不安感を軽くする ・特に夜間は1人体制ということもあり、責任や負担も強い夜間帯の状況を把握しながら、休憩時間の取り方や応援体制を明確にする	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。